


イワクラ調査票

提出月日 2016年 5月 7日

受付番号 A00017

整理番号 290007

単独・群	概要（遺物・伝承）
<input checked="" type="checkbox"/> 単独のイワクラ <input type="checkbox"/> イワクラ群	役小角の開基で、自作毘沙門天をまつり岩屋山と号したと伝えられる。延暦年間（782～806）に、伝教大師作の吉祥天女・禪尼師童子をまつり岩蔵寺と号した。永禄11年（1568）本堂を再営、天正7年（1579）本堂外陣を再建、弘法大師自作の石彫不動明王をまつる。現在は無住で、小さな堂が建つのみ。
名称	
真言宗御室派 岩屋山 「岩蔵寺」 磐座	境内東側には、修行の場であった滝や岩場・石仏群が残り、役行者磨崖仏がある。露出する花崗岩の岩肌に、高さ82cmの船型を彫り窪めて、像高68cmの役行者像を半肉彫りしたもの。
公開可否	
公開	滝の近くに天文14年（1545）銘の十三仏種子板碑があり、自然に出来たとされる役行者の仏足石もある。また、陰石と称される石もあるそうである。
所在地	参考資料文献（文献・書籍・ホームページ）
奈良県生駒市南田原 JR学研奈良線 白銀駅 西方約2km 国道163号北田原大橋信号を南江約2km東側山の麓にある	HPその他
GPSデータ	
34.719415, 135.708101	
	情報提供者
	柳原輝明
写真	その他
	参る人も少なく、寺としては寂れてしまっている。かろうじて地元の人により維持されているようである。
	学会使用欄 <input checked="" type="checkbox"/> イワクラ認定 <input type="checkbox"/> 暫定イワクラ <input type="checkbox"/> 未イワクラ